

平成 28 年度 研究計画書

Research Plan FY2016

DATE : 2016.6.7.

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語日本文化教育センター 講師
氏名 Name	村田 真実
専門分野 Academic Field	方言学・社会言語学

平成 28 年度 研究計画 (ホームページで公開) Research Plan FY2016 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	①accent class division (ACD)の分析モデルの構築 ②方言文末詞「デ」の音調と機能について③ 集団的知性及び意志決定ルールに基づく支援ツールの試作 ④日本語諸方言における有声性について				
研究計画 (400 字~500 字で記入すること。) Research Plan (Approximately 100 Words)					
①昨年度に引き続き、ACD の研究を行う。前年度は富山方言、徳島方言、三重方言に限って分析を行ったが、他に ACD を起こしている地域がないか、文献による調査を行う。また、試作した分析モデルを再検討し、通方言的な日本語アクセントの条件変化の規則を見出す。②方言文末詞「デ」は、東北地方から北関東、新潟県、近畿地方全域、中国・四国地方に広く分布することが各地域の調査報告から明らかになっている。方言文末詞「デ」の機能は地域によって異なるが、音調についてはほとんど研究が行われていないのが現状である。今年度は四国方言の「デ」の音調と機能にどのような地域差があるのか明らかにする。③集団的知性及び意志決定ルールに基づき、問題分析・解決を支援するツールを共同で試作する。担当箇所は、テキストマイニングと計算機統計を用いた解析である。④日本語各地の方言音声について、有声性とはどう定義されるのか、分節音や韻律との関係も踏まえて検討を行う。					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	日本語学	言語学	教育工学	日本語教育	地域研究
キーワード Keywords*2	アクセント	文末詞	方言	音声分析	テキストマイニング